



四国がんセンター
呼吸器内科



シスプラチン+ビンoreルビン療法 を受けられる方へ

さま

主治医/担当医 []

受け持ち看護師 []

2010年2月25日 作成
2026年9月14日 改訂

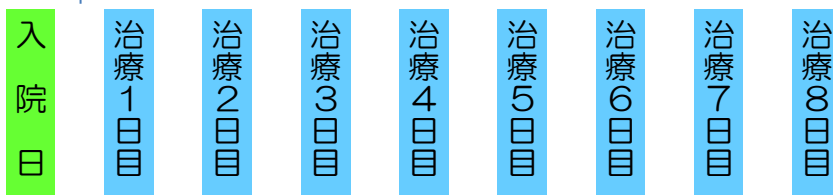
私たち医療スタッフは

1. 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします
2. 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、安全に治療を続けることができるようにお手伝いします



シスプラチン+ビノレルビン療法のスケジュール

1 コース（21日間）



ビノレルビン



約5分の点滴です



シスプラチン



約2時間の点滴です

・この他に、アレルギー予防や副作用予防のための点滴があります

- ・抗がん剤を投与したときに、過敏反応が起こることがあります
過敏症状がでたら、早めに点滴を止めることが大切です
- ・息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気など気分が悪いときは
我慢をしないで、すぐに医療スタッフにお知らせください



治療前の歯科受診について

- ◆治療時に起こる口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように、治療開始前の
歯科診察を行っています
- ◆治療前の歯科受診では、以下を行います
 - ・レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
 - ・歯ブラシだけではとれない細菌の除去
 - ・適切なセルフケア（歯磨き、うがい）指導
- ◆通常1～2回の受診で終わることができます

口の中はとても細菌の多い場所です

治療中や治療後にその細菌が悪影響を及ぼすことがあります

特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療前から口の中を
きれいにし細菌をできるだけ減らしておくことが有効です



排便について

普段からご自身の便の性状を確認し、入院中に排便調整の目安や方法を医療スタッフと一緒に確認しておきましょう

排便回数が4回以上増えたとき、下記の表の6（泥状便）～7（水様便）の排便が続くとき、周期的に腹痛があるときはすぐに医療スタッフに伝えましょう

3日以上排便がない、いきまないと便が出ない、便は毎日出ているがすっきりしない腹部膨満感などの症状があるときは、排便回数や性状によって緩下剤を使用します

※排便の状況や下痢・便秘の辛さは人によって違います

※排便のコントロールが難しい場合は看護師と解決方法を相談しましょう

便の性状について（ブリストルスケール）

ブリストルスケールは、便のタイプ（硬さ）を7種類に分類した世界共通の尺度です
自分の便のタイプを知り、排便調整の参考にしましょう

1	コロコロ便		硬くてコロコロの 兔糞状の便
2	硬い便		ソーセージ状であるが 硬い便
3	やや硬い便		表面にひび割れのある ソーセージ状の便
4	普通便		表面がなめらかで柔らかい ソーセージ状、あるいは 蛇のようなとぐろを巻く便
5	やや軟らかい便		はっきりとしたしわのある 柔らかい半分固形の便
6	泥状便		境界がほぐれて、ふにゃふにゃの不定形の小片便 泥状の便
7	水様便		水様で、固形物を含まない 液体状の便

入院中の生活の注意点

- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりととりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まったままの状態は、腎臓や膀胱に負担がかかり炎症を起こすことがあります
尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆正しく安全に点滴を投与するために輸液ポンプを使用します
 - ・点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
 - ・歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は、支えにしないようにしましょう



こんなときは看護師にお知らせください

- ＊輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- ＊点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき



- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます
尿や便に直接触れても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・男性の方は飛び散り防止のため、座って排尿しましょう



- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう



- ・トイレの後、フタがある場合は、
フタをして水を2回流しましょう

- ・ナプキンや尿とりパッドを使用している場合は、看護師にお知らせください
 - ＊使用済みのナプキンや尿とりパッドは、ナイロン袋に入れて口を結びましょう
 - ＊トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう

- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約3週間の予定です

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては、予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます



入院日～治療前日 月 日～ 月 日



今日の目標

- ・入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

＜時間＞	＜予定＞
11:00	入院 【入院後に以下のことを予定しています】 ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください） ・検温、血圧測定、身体測定
12:00	昼食 ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・血液検査 ・医師、薬剤師より抗がん剤治療の説明があります ・サインをした同意書は、看護師にお渡しください ・初回治療のときは、管理栄養士より病院食や食事の工夫について説明があります 2回目以降、味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を希望される場合は、お知らせください ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください
	治療の流れや注意事項、副作用や対策について説明します 過敏症、点滴部位の痛み・血管痛について説明します 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
18:00	夕食 ＜お薬＞ ・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします
21:30	消灯 ＜食事＞ ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください ・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります

＜治療前日＞

- ・血液検査
- ・看護師より、治療スケジュール、入院中の生活について説明をします
- ・薬剤師より薬の説明をします

医療スタッフの目標

- ・入院生活や抗がん剤治療に対する不安がないように支援します





治療1日目（抗がん剤投与当日）

月 日

今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は医療スタッフに知らせることができる
- 水分を1000ml以上とることができる
- 2日に1回排便がある

<時間>

<予定>

水分をしっかりとりましょう

6:00	起床 検温、血圧測定	• 点滴時間は約5～6時間です 開始時刻については、看護師からお知らせします
7:30	朝食	<治療時の注意点> • 治療前にトイレに行きましょう
10:00	検温、血圧測定	• 点滴中は管を無理に引っ張ったり、針の入っているところを押さえないようにしましょう
12:00	昼食	• 点滴の漏れを防ぐために移動や着替えなど身の回りのことを看護師はお手伝いをします
14:00	検温、血圧測定	• 抗がん剤投与中は頻回に伺い、検温、血圧測定を行います • 点滴中はトイレなどの歩行時に注意しましょう 点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります 点滴台は支えにしないようにしましょう
18:00	夕食 夕食後、オランザピン錠を2錠服用します	フタをして 水を2回流しましょう
19:00	検温 血圧測定	眠気が強く出ることがあるので、薬を飲む前に トイレに行きましょう また、夜ふらつときは看護師を呼びましょう
21:30	消灯	吐き気・嘔吐、味覚障害・食欲不振、倦怠感について説明します 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照



医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



点滴スケジュール

(	:	)	吐き気止めの薬を服用します (コップ1杯の水を準備しておいてください)
(	:	)	～ 点滴を開始します

1 本目	吐き気止めとアレルギー予防のお薬が入った点滴を15分で行います
2 本目	尿をたくさん出し、腎機能の悪化を防ぐために、500ml の点滴を約1時間で行います
3 本目	生理食塩水50ml + ビノレルビン（抗がん剤）が入った点滴を約5分で行います
4 本目	静脈炎の予防のために、生理食塩水250ml の点滴を約30分で行います
5 本目	尿をたくさん出し、腎機能の悪化を防ぐために、300ml の点滴を約45分で行います
6 本目	生理食塩水500ml + シスプラチン（抗がん剤）が入った点滴を約2時間で行います
7 本目	尿をたくさん出し、腎機能の悪化を防ぐために、500ml の点滴を約1時間で行います 終了後、針を抜きます

※抗がん剤前後の点滴は変更することがあります

- ・針の入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときは、すぐにお知らせください
- ・息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気があるなど気分が悪いときは我慢をしないでお知らせください



体調に合わせて体を拭いたりシャワー浴をしましょう
看護師がお手伝いしますので、いつでも声をかけてください



今日の目標

- ・治療内容について理解できる
- ・副作用症状出現時は医療スタッフに知らせることができる
- ・水分を1000ml以上とることができる
- ・2日に1回排便がある

<時間>

<予定>

6:00

起床

水分をしっかりととりましょう

7:30

朝食

朝食後、デカドロン2錠、アプレピタント1カプセルを服用します

10:00

検温、血圧測定

治療2日目：便秘、下痢

治療3日目：口内炎、神経障害、皮膚障害

について説明します

「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照



12:00

昼食

体調に合わせて
体を拭いたり
シャワー浴を
しましょうフタをして水を
2回流しましょう

18:00

夕食

夕食後、オランザピン錠を2錠服用します

21:30

消灯

眠気が強く出ることがあるので、薬を飲む前に
トイレに行きましょう
また、夜ふらつくときは看護師を呼びましょう

- ・針の入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがある、硬くなったときはすぐにお知らせください
- ・口内炎の予防をするため、お口の中をきれいにしましょう
- ・吐き気や口内炎などで食事が食べにくいときは、食事内容を変更したり、吐き気止めを使うことができます
管理栄養士との相談を希望される場合は、看護師にお伝えください

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- ・副作用症状出現時は医療スタッフに知らせることができる
- ・副作用出現時の対処方法がわかる
- ・水分を1000ml以上とることができる
- ・2日に1回排便がある

<時間>

<予定>

6:00

起床

水分をしっかりとりましょう

7:30

朝食

朝食後、デカドロン2錠を服用します（治療4日目まで）

血液検査とレントゲン検査があります（抗がん剤投与7日目のみ）

10:00

検温、血圧測定

治療4日目：骨髄毒性

治療5日目：肺障害、息切れ・動悸

治療6日目：脱毛

治療7日目：腎機能障害、浮腫 について説明します

「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

「がん治療による脱毛に備えて（頭髪編）」パンフレット参照

12:00

昼食

看護師より2回目の治療スケジュールについて説明します
（抗がん剤投与7日目）

体調に合わせて体を拭いたり、シャワー浴をしましょう

18:00

夕食

夕食後、オランザピン錠を2錠服用します（治療4日目まで）

21:30

消灯

眠気が強く出ることがあるので、薬を飲む前にトイレに行きましょう

また、夜ふらつくときは看護師を呼びましょう



- ・針の入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがある、硬くなったときはすぐにお知らせください
- ・口内炎の予防をするため、お口の中をきれいにしましょう
- ・吐き気や口内炎などで食事が食べにくいときは、食事内容を変更したり、吐き気止めを使うことができます
管理栄養士との相談を希望される場合は、看護師にお伝えください

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は医療スタッフに知らせることができる
- 2日に1回排便がある

<時間>	<予定>	
6:00	起床 検温 血圧測定	• 点滴時間は約1時間です 開始時刻については、看護師からお知らせします
7:30	朝食	<治療時の注意点> • 治療前にトイレに行きましょう
10:00	検温 血圧測定	• 点滴中は管を無理に引っ張ったり、針の入っているところを押さえないようにしましょう
12:00	昼食	• 点滴の漏れを防ぐために移動や着替えなど、身の回りのことを看護師はお手伝いをします
14:00	検温 血圧測定	• 点滴中は、頻回に伺い、検温、血圧測定を行います • 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気があるなど気分が悪いときは我慢をしないでお知らせください • 針の入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがある、硬くなったときはすぐにお知らせください
18:00	夕食	• 口内炎の予防をするため、お口の中をきれいにしましょう
19:00	検温 血圧測定	• 吐き気や口内炎などで食事が食べにくいときは、食事内容を変更したり、吐き気止めを使うことができます 管理栄養士とも相談できますので、遠慮をしないで看護師にお伝えください
21:30	消灯	• 腎機能悪化予防のため、水分摂取を心がけましょう

フタをして水を
2回流しましょう



医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



点滴スケジュール

(:) ～ 点滴を開始します

1 本目	生理食塩水50ml の点滴を約5分で行います
2 本目	生理食塩水50ml + ビノレルビン（抗がん剤）が入った点滴を約5分で行います
3 本目	静脈炎の予防のために、生理食塩水250ml の点滴を約30分で行います

※抗がん剤前後の点滴は変更することがあります



体調に合わせて体を拭いたりシャワー浴をしましょう
看護師がお手伝いしますので、いつでも声をかけてください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

治療9日目～

月

日～



今日の目標

- ・副作用症状への対処ができる
- ・退院後の日常生活について理解できる
- ・退院後の日常生活で不安なことを医療スタッフに伝えることができる
- ・2日に1回排便がある

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

★治療後10～12日目に血液検査があります

★治療後14～15日目に血液検査と胸部レントゲン撮影があります

10:00

検温

血圧測定

12:00

昼食

感染予防のために、マスクを着用し、
手洗い・うがいをしましょう

体調に合わせて
シャワー浴をしましょう

18:00

夕食



抗がん剤投与後、
2日間はフタをして
水を2回流しましょう

21:30

消灯



- ・針の入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがある、硬くなったときはすぐにお知らせください
- ・口内炎の予防をするため、お口の中をきれいにしましょう
- ・吐き気や口内炎などで食事が食べにくいときは、食事内容を変更したり、吐き気止めを使うことができます
管理栄養士との相談を希望される場合は、看護師にお伝えください

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤の血管外漏出予防に努めます
- ・退院の準備をすすめられるように支援します





今日の目標

- ・副作用症状への対処ができる
- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院後の日常生活で不安なことを医療スタッフに伝えることができる
- ・2日に1回排便がある

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

<退院に向けての準備>

- ・次回受診日、退院後の日常生活について説明をします
「退院後の日常生活について」ページ参照
- ・次回外来で治療予定の方は、通院治療室の見学をします
「外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ」ページ参照

10:00

検温
血圧測定

12:00

昼食

感染予防のために、マスクを着用し、
手洗い・うがいをしましょう

体調に合わせて
シャワー浴をしましょう

18:00

夕食

21:30

消灯



- ・針の入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがある、硬くなったときはすぐにお知らせください
- ・口内炎の予防をするため、お口の中をきれいにしましょう
- ・吐き気や口内炎などで食事が食べにくいときは、食事内容を変更したり、吐き気止めを使うことができます
管理栄養士との相談を希望される場合は、看護師にお伝えください

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・退院の準備をすすめられるように支援します



退院日 月 日



今日の目標

- 退院後の日常生活の注意点について理解できる
- 退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食

お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10:00

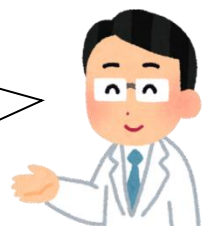
退院
退院前に忘れ物がないようにご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので
2階医事受付窓口でお支払ください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 退院後の日常生活に不安がないように支援します



退院後の日常生活について

●食事

無理をしないで食べられるものを探して、食事はゆっくりと時間をかけたり
少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう

食事ごとに吐いてしまうようなときは、1～2食、食事は控えて
みましょう

この場合も水分はできるだけとりましょう



●お薬

発熱などの薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
服用しても症状が改善されない場合は、がん相談支援センターにご連絡ください
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください

●活動

無理をしない程度で体を動かしましょう

活動の内容や範囲に制限はありません

採血結果で白血球が下がっているときは、なるべく人混みは
避けましょう

外出時は、マスクを着用して帰宅時に手洗い・うがいをしましょう

活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください



●排泄

毎日排便があるようにしましょう

軽い運動や水分を多めにとりましょう

下痢のときは白湯やスポーツ飲料などをとりましょう

水分を控えると脱水症状を起こすことがあります

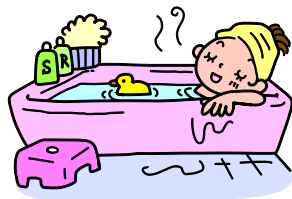
便秘気味の方は、緩下剤（便をゆるくする薬・押し出す薬）で排便コントロールを
しましょう

退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう

＊退院後、便秘が続き、排ガスがない、下痢や吐き気、腹痛がある場合はかかりつけ医、
または、四国がんセンターの医師の診察を受けるようにしましょう

●入浴

特に制限はありません



●仕事

これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に
なることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



●その他

点滴をしたところと、その周りは、皮膚や血管の炎症が悪化するのを防ぐため
清潔に保ちましょう

泡で優しく洗浄する、タオルで押さえ拭きをするなど、強い刺激を避けましょう
水泡ができたときは、つぶさないように注意しましょう

皮膚が赤くなった、腫れた、痛みが強くなったなどの症状が現れたときは、処置が
必要となる場合があります

早めにかん相談支援センターへご連絡ください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ

① 受付



B受付

② 採血
中央処置室



☆採血時のお願い☆

採血時に注意することは退院前に確認しておきましょう
点滴予定の腕とは反対の腕で採血しましょう



採血結果が出るまで、
約30分～1時間かかります

③ 診察受付

A受付

B受付

C受付

S受付

呼吸器科
消化器科
緩和ケア
感染症腫瘍内科
骨軟部腫瘍・整形外科
禁煙外来

泌尿器科
血液腫瘍内科
原発不明がん診療科

④ 診察

乳腺外科
婦人科
形成外科
頭頸科・甲状腺腫瘍外科
歯科
病理診断科

消化器内科
糖尿病内科
内分泌内科
循環器内科
皮膚科
眼科
精神科
脳神経外科
リンパ浮腫
がんゲノム医療外来

治療決定

S受付

⑤ 治療
通院治療室

看護師が点滴の針を刺し、
確認後に抗がん剤を開始します

治療終了

検査や他の診療科で診察のある方は、各受付へ

検査の説明を受ける方は、予約センターへ

⑥ 会計

処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

***お薬の処方がある方へ**

6番窓口で処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

予約センターは
B受付の隣です



通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行うため、少し時間がかかります。
- 入室時に、ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料で利用できます。ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- 付き添いは原則ご遠慮いただいております。ご家族の待機場所として「暖だん」や「図書コーナー」などがあります。
- 副作用や日常生活で困っていることや相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。





- 解熱剤を服用しても37.5℃以上の熱が続くとき
- 食事や水分がとれないほど体調が悪くなったとき
- 点滴をしたところの周りが赤くなった、腫れた、痛くなったとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13:00~17:00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



シスプラチン+ビンoreルビン療法を受けられる方へ